

# 「屋根の下」拒まないために

前科ある人や困窮者入居 業界に呼びかけ支援委

## 貧困となりあわせ

ある不動産屋の挑戦

岡山市の不動産業、阪井ひとみさん(54)があっせんしたアパートに住む30代の男性は、建設会社に勤めていた4年前、取引先の相手とささいな口論からけんかになり、殴り倒して警察に逮捕された。以前に違法なドラッグを吸引して執行猶予中の身だったため、刑務所に入った。

### 土壇場で白紙

2年間の服役後に出所。出所者の社会復帰を支える更生保護施設に身を寄せ、半年後に自立しようと家探しを始めた。20件以上回ったが、軒並み断られた。これも契約の土壇場で大家から白紙撤回された。当時の住所は更生保護施設。不動産業者は受刑の経歴が理由だとほめかした。

出所者を見る世間の冷たさに打ちのめされた。捨て鉢になっただけでなく、施設の職員



受刑の経歴を理由に入居を断られた男性は阪井さんの世話で落ち着き、HIVの薬を服用しながら職を探す

から阪井さんを紹介された。男性はもう一つ、隠し事を抱えていた。刑務所で作業中に倒れ、血液検査の結果、エイズウイルス(HIV)の陽性反応が出た。差別や偏見におびえ、隠し通すつもりだった。だが、阪井さんの真顔をみて思わず打ち明けた。

「おぼちゃん絶対に部屋を見つけてあげる」。阪井さんは請け負った。HIV陽性者の入居者は、この男性で2人目だった。最初の男性は感染の判明後、家族から家を追われ、自殺を図っていた。

「一度レベルから脱線すると線路に戻れない。住むところがないと何もできない」。住まいを得て男性は落ち着いた。ウイルスによる免疫機能の低下を抑える薬代は月約6万円。免疫機能障害で障害2級と認定され、医療補助で薬代を賄い、生活保護を受けながら仕事を探す。

### たまたまの路上

貧しさに進退窮まり、窃盗



阪井さん(中央)は所有する中古マンションの敷地内にプレハブ小屋を建てた。週末は住人が憩う喫茶室となる。岡山市

## 安くて良い物件 情報共有を提案

で2度逮捕された男性(57)は、2010年から阪井さんのマンションに住む。

高校卒業後、岡山県内の製鉄会社に就職し、鉄鉱石などの原料加工の仕事に就いていた。妻家の住宅ローンを肩代わりするよう迫られ、仕事を辞めて退職金で払うことにした。再就職のあてはなかったが、07年に自主退職。幼いころに左足に大やけどを負い、歩行が不自由なまま肉体労働を続け、体力の限界も感じていた。

1年半後、手元に残る退職金を使い果たし、独り身のまま路上生活を始めた。就職口はなく、リーマン・ショックで凍る街をさまよった。パンを拾い、柿やミカンをもいで食いつないだ。スーパーの駐輪場を狙って、自転車のカゴに置きっぱなしの買い物袋を盗んだ。

09年冬、自転車を盗み逮捕。釈放後、再びホームレスに。10カ月後、また自転車を盗んで逮捕。古傷の具合が悪くて長

時間歩けず、自転車を欲した。10万円の罰金刑を受け、裁判を担当した弁護士から阪井さんを紹介された。福祉の仕事をも何も知らなかった男性は、弁護士や社会福祉士の支援で生活保護を受け、屋根の下で暮らせるようになった。「ここに来なかつたら、また盗みをしていただかもしれない」

### 戸惑いつつも

2月21日、岡山県宅建物取引業協会に「入居支援に関する特別委員会」が発足し、岡山市内で初会合が開かれた。社会的弱者が住まいを得るには不動産業者の理解が欠かせない。阪井さんの呼びかけで実現した委員会だ。

狭くて汚い部屋ではない、貧困ビジネスの不安もない、安く良質の物件をそろえ情報提供できないか。阪井さんは障害者や高齢者、前科のある人らの入居を拒まない物件のデータベース化を提案した。保証人がいない場合はどうすればいいのか。入居者のトラブルの責任をすべて負えるのか。業界は戸惑いつつも、前向きだ。「行政や医療、福祉関係者との連携が不可欠」。異業種協会の道下忠義専務理事はそう前置きしてから言った。「業界は少子高齢化で増える空き家対策に頭が痛い。阪井さんの提案は、ビジネスチャンスだ」

身寄りのない独居老人や外国人、障害者、家庭内暴力で家を追われた人、失業者、ホームレス……。18年前の精神障害者の家探しから始まった阪井さんの支援のもとに、たくさんの方が集まってきた。不動産業者が連携すれば、もっと多くの人が住みよい部屋で穏やかに暮らせるはずだと、阪井さんは思う。

### 住宅セーフティネット法

07年に制定。自力で住まいを探すのが難しい人たちの支援の受け皿として、自治体や不動産業者らに「居住支援協議会」の設置を促す。神奈川や兵庫などの協議会は入居を拒まない物件を集め、インタ

ネットサイトで情報提供している。ただ設置は義務づけられておらず、設置団体は今年1月現在で全国41団体にとどまる。総務省の08年の住宅・土地統計調査では、賃貸用住宅の空き家は全国で413万戸。生活困窮者向けの活用が議論されている。

(足立耕作) 〓おわり